

3年生を対象とした『キャリア開発演習Ⅰ』の授業を見学させていただきました。本日の授業では、公務員論文試験の最頻出テーマである「行政の役割」についての解説が行われました。

冒頭、総長先生より、「教師とは、学生に理解をさせ、その問題が試験に出たら正解させなければいけない。学生が将来幸せになるために、心を込めて教えなくてはならない。」というお言葉があり、『高校時代に勉強が苦手だった学生でも、4年間の大学生活の中で優秀な人間に生まれ変わらせる真の教育を実践し、卒業後の明るい未来を保障する。』という本学の使命を再確認いたしました。

授業は、総長先生が重要な箇所は下線を引くように伝え、教員が学生を指名し、教科書の音読をさせる形式で進行しておりました。適宜、総長先生より解説内の重要なポイントについてご指導があり、学生は教科書に下線を引きながら集中して授業に取り組んでいる様子でした。一方的に説明を聞くだけでなく、自分で考えながら作業を行うことで、暗記力が高まり、力が身につくのだと感じました。

一通り音読が終わった後は、20分間の時間を明示し、もう一度個人で黙読をさせることによって学生の知識・理解の定着を図るという教育方法を実践されておりました。その後、教員は学生を指名して教科書の内容に関する質問をすることで、学生の理解度を確認しておりました。

授業の終わりに総長先生から、学生へ向けて「公務員はリストラがない、生活が安定している、内定を取り消されることもない職業であるから頑張って試験に合格してほしい。真面目に、地道に勉強に取り組めば絶対に受かります。」という激励のお言葉がございました。学生はそのお言葉を頷きながら聞いており、大変励みになった様子でした。